

第5次財政健全化計画案～質問箇所～

P.2～4	これまでの取り組み	第四次財政健全化計画までの進捗管理ができていない。 学校耐震化などの事業進捗、健全化による物件費の増額分など 第五次財政健全化では、これまで以上の進捗管理と総括をすべき。
P.5～6	財政状況の現状	人件費の削減は、一定の限界がある。 将来の慢性的な扶助費の増加という社会保障問題を市としてどのように考えているか。
P.9～10	新たな行政課題と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対策と安全・安心なまちづくりは、それぞれの進捗状況を。 乳幼児の医療助成拡充は財政状況を睨みながら進めていくべき。 ただ、保護者・医療従事者にも適正受診の啓発努力が求められる。 ・中学校給食の導入は喜ばしいこと。 子どもたちに食の尊さ(食育)を学ばせる大きな機会となるような給食の在り方を検討すべき。 ・ウォーキングロードの整備とは、歩行者にやさしい歩道が必要なのは言うまでもない。 歩道と車道の分離ができていない箇所などがある。 この整備を中心として歩行者優先の街路づくりを。
P.13	土地開発公社の債務の全面的な解消	<p>三セク債活用の経緯について</p> <p>処分できる土地かどうかの見極め。</p> <p>公社の健全化は高石市の財政健全化の最大の要所。不退転の決意で行うように。</p>
P.14～15	人件費の更なる見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・削減根拠は？ 現時点でもイージームスが目立つ。広域連携を視野に入れて業務遂行可能な人員体制を。 ・人事評価制度の導入は非常に嬉しい <p>しかし、導入そのものが目的ではなく、評価することが目的でもない。職員のレベルアップが目的であることを忘れずに。</p>
P.16～20	事務事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の統廃合

		<p>計画にある残りの1園の廃止園を早期に決定し、説明をするように。</p> <p>3園でも私立幼稚園と競合できないようなら、更なる統廃合を。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の民営化 <p>保育所は公立と私立で明らかに私立の方が福祉・サービスともに上回ってしまっている。</p> <p>しかし、公立は1園残して、高石の保育指針の発信基地となるように存在を高めるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食調理業務の民営化 <p>給食調理は100%民間ですべき。高給の公務員の仕事ではない。順次実施していくように。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶助費の給付適正化 <p>年金受給者より生活保護者の方が生活基盤が安定的になり過ぎていることは社会問題。</p> <p>生活保護受給者のチェックシステム、初期対応、適正受診を徹底するように。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃関係費の削減 <p>三市のコンセンサスは得れるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種事務の広域化 <p>府の権限移譲事務の期間(H22～H24)までにどれくらい事務を移譲できるのか？</p> <p>権限委譲を受け入れる体制を整備するのは、将来予測される自治体間競争において、最も要請されるところ。</p>
P.20～22	歳入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の有料化 <p>市役所利用者が無料なのは当たり前。そのうえで、採算性をとるのか、無断駐車を抑制するのか。</p> <p>この二つの目的の整理をしっかりとすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般ごみの有料化 <p>減量努力をしている市民と全くしていない市民がいる。市内一律にごみ袋を有料化させるのは不公平。</p> <p>何袋までは無料、何袋以上は有料という制度設計はできないものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興 <p>企業立地促進条例、他市と差別化できる条例を。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・市税等の徴収率の向上 <p>償却資産税の申告漏れをなくすために、税務署の資料と突合させることはもちろんのこと、現地調査も企業との信頼関係を構築したうえで実施していくようにしてほしい。</p>
P.24	健全化後の収支見通し	<p>健全化判断比率</p> <p>たたみ債による実質公債比率の上昇を睨みながら起債発行していくこと。</p>
P.26～30	特別会計など	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険会計 <p>若干、見通しが甘くないか？</p> <p>健全化計画の検証はできているのか？</p> <p>保険料の増額は、もう限界にきている。一般会計からの繰り入れも視野に入れてみては。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墓地事業特別会計 <p>区画が埋まった次のビジョンは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資法人 <p>施設管理公社のスムーズな解体を。</p>